

市民の協力で大排雪作戦

記録的な大雪に見舞われた東北地方は交通網や家屋に大きな損害をあたえています。今年は大館地方も比較的積雪量が多く、家屋や鶏舎の崩壊、交通事故など例年にない数字が出ています。

そのため市では2月23日と24日の2日間、消防活動上支障をきたすものと予想される10町内の道路を該当町内や

団体の方々の協力を得て、大排雪作戦を実施しました。2日間にわたって行なわれた排雪作業には市の除雪機械をはじめ協力団体のローダー等16台とトラック27台が各町内に動出し、雪捨て場にあてられた長木川大橋・西大橋間の川原は2台のローダーでは処理できないほどの雪が各町内から、運び込まれていました

なお、路上駐車をされますと、万一、火災や事故が発生した場合通れないこともありますので+

分注意してくださるよう消防署ではいつています。

<ご協力いただいた町内の方々と団体>

<町内>

上町、金坂、桜町、相染町、旭ヶ丘、東町(2番町)鉄砲場、昭和町、御成町1丁目、谷地町

<団体・機関>

自家用車組合協会、商工会議所、交通安全協会、ハイヤー協会、大館警察署消防団

谷地町附近で



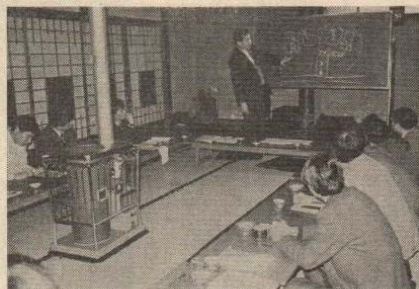
石川市長 青年の夢を聞く

さる、2月18日、青少年サークル協議会の呼びかけで、市長を囲む座談会が中央公民館で開かれた。この話し合いには各サークルの代表ら20名が出席、まず、グループ側からそれぞれの現況を市長に説明があったあと、あらかじめ協議会から出されていた除雪対策や新しい公民館の内容、グループへの助成の問題について、市長から具体的に説

明されました。つづいて、各グループから文化会館の建設、図書館の開館時間の延長、ホームヘルパーの増員等、市政全般にわたって意見や要望が出され、午後9時、和気あいあいのうちに3時間におよぶ話し合いを終えました。

この会をはじめの試みであったが、出席した山口典典氏は「市政の勉強と合せ、市長に、青年たちと接してもらおうとともに、各グループの活動を理解していただくために開いたが、大変有意義な話し合いであるので、今後も機会があれば話しあってみよう」といっております。

市長も、次代を担う青年たちの市政に対する関心に敬服し、今後、協議会の要望があれば、すすんで対話を深め、青年たちの夢がかなえられるよう努力したいとしています(写真)青年たちとの話し合いで新中央公民館の構想を説明する石川市長



……大館市での主な死亡原因

死亡数の72%が成人病——ガンは60%が70才未満

大館市では、48年中に458人が死亡しています。これは大館市の人口1万人に対して6.1人死亡している計算になります。おもな死因別死亡割合を調べてみますと、47年の秋田県の割合よりやや高く、つぎようになります。

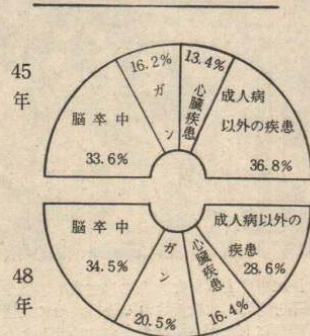
順位	死因	48年(48年)	秋田県(47年)
1位	脳血管疾患(脳卒中)	158人 34.5%	32.5%
2位	悪性新生物(ガン)	94人 20.5%	19.9%
3位	心臓疾患	75人 16.4%	11.3%

この順位は、昭和44年から変わっていませんが、死亡の割合を3年前の昭和45年と比較(図1参照)してみると、成人病の死亡は、45年の63.2%から48年には72.2%に増加しています。これは、成人病以外の死亡者が減っていることを示しています。

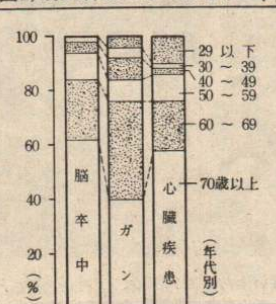
これを成人病死亡者のうち、70才未満の占める割合をみると(図2参照)脳卒中38.7%、心臓疾患32.0%に対して、ガンでは56.4%も死亡しており、働きざかりの若い生命がうばわれています。

ガンは早期発見、早期治療で治せる時代です。大館市では、毎年、ガン検診を実施していますので30才をすぎたら、すすんで検診をうけましょう。

(図1) 死因別死亡の割合



(図2) 成人病死亡者の割合(48年)



「物を大切にす運動」 連絡協議会が発足

大量生産、大量消費の生活の中で、資源のムダ使いが助長されたが、資源不足のわが国においては日常生活のいろいろな面に大きな支障を生ずるようになって

います。このような情勢の中で、使い捨ての生活にきびしい反省を加え、生活の中の浪費を節約する運動を強力に展開させるため、市が音頭をとり「物を大切にす運動連絡協議会」を発足させました。

この運動は、住民運動と行政が一体となった体制のもとに、昭和50年まで継続してすすめることとなりますが、当面各団体の実施計画事業として、つぎのような節約運動をすすめることにし、各団体に申し入れました。

<各団体の運動事項>

婦人団体連絡協議会(過大包装追放運動 不要品の交換会)

農協婦人部連絡協(結婚式の簡素化、買物かご、かあさん9時運動)

市長会(市役所内の節約、節電運動)

公民館連絡協(公民館方式結婚の推進)

農協中央会(幸せの生活設計運動)

小学校長会(学用品を大切にす、紙の裏面利用、給食を残さない、学用品の使い方の指導運動)

中学校長会(教材の再検討、教育の内容にこの運動を組み入れる事)

高等学校長会(物を大切にすの心を育てる、校内の忘れ物、落し物を吟味する、消耗品の節約の運動)

私立学校連合会(学校物資の節約運動)

生活改善実行グループ連絡協(廃物利用展示会、冠婚葬祭の簡素化、標語募集運動)

連合青年会(結婚式の簡素化、自転車利用、ふるさとづくり運動)

商工会議所連合会(物資再利用、過大包装追放、不用品交換運動)

貯蓄推進委員会(家計簿の記帳、生活設計、貯蓄の推進運動)

生活協同組合連合会(過大包装、過大広告の自しゆく運動)

商工連合会(過大包装の自しゆく、再利用の検討)

市町村教育委員会連合会(PTAに対する啓蒙、各学校における指導)

父が出かせぎへ行く

川口小学校6年 小林 孝治

1月21日午後7時ごろ、ぼくは、2階でカセットを聞いていた。

下の方がザワザワうるさかった。

ちょっと、下へ行ってみた。

父が「出かせぎに行くのだ」といった

ぼくは、ハッと気がついた。

父は一家の柱であるし、働き手である。

去年の10月のことであった。

コンパいで、手に2カ所傷を受けた。

その後からは、田んぼの仕事はぼくも手伝うようになった。時々、田んぼで働ら

いている父を見ると、額からあせをドロドロと流しながらがんばっている。

あの、父の左手の白いほうたいを見る

と心配だ。父のがんばったおかげで、や

っと箱の収穫が終わった。

その父が、約3カ月間もいなくなる。

だんだん心配になってきた。

父がもし、交通事故にあったらどうし

よう。

また、この家のことも心配になってきた

家にいるのは、母、祖父、祖母が2人、

姉、兄、ぼくの7人だ。

父のかわりに祖父、母ががんばる。

祖父はもう70才をこえていた。

だんだん心配になってきた。

父のいたときは、本読みのとき漢字を教

えてくれた。思い出すといういろいろ不便が

ある。

父が「車、来たたいに行く」といって

玄関を出ようとしたとき

ぼくが「これ、ける」といって、かき

をやった。

父は喜んで受けとり、急ぎ足で車の所

へ行った。

そして、エンジンの音といっしょに行

ってしまった。

出稼ぎ家庭の作文集から

市民相談室が、小学校(10校)

の協力を得て、出稼ぎ家庭の作文集

を創刊し、出稼ぎ者の皆さんと送付

した。

文集には、お父さんやおばあちゃん

のいないさびしさを切実に表現した

子どもたちの作文が83編もおさめ

られ、出稼ぎ者の皆さんに深い感銘

をあたえている。

出稼ぎにおくったるす家庭の子ど

もたちが、どんな心境でいるか、文

集の中から2編を紹介してみます。

おとうさんへ

釈迦内小学校 2年 日景加奈子

どうしておとうさん、お正月でなければこれないの。日よう日にだってこれる

でしょう。

わたしは、おとうさんがいないときび

しいわ。どうしてかわかる?

それは、おとうさんがいないとお金も

もらえないの。

それに、よる、おとうさんのふとん

の中でテレビをみているとき、わたしは、

おとうさんの足にすわると、おとうさん

が足をうごかしたりしているから、ぼん

ぼんはねて、とてもうれしかったです。

今はぐんまに行っているから、さびし

くなりました。

おとうさんがいないと、いつも夜にな

るとさびしくてたまりません。だから、

ふとんの中でおとうさんのことを思いだ

して、なっているうちにねむってしま

います。

星はがまんして一人で外であそんで

います。

そちらで、おとうさんがはだかで仕事

をしていても、とげをさしたり、からだ

にきずをつけたりしないようにしてくだ

さい。

だけど、あんまりはたらくと、からだ

が弱くなるから、むりに仕事をやらない

でね。お願いします。

おとうさん、いいでしょう。

からだを弱くすると、家にこられなく

なるから、丈夫にはたらくてください。